平成１６年度決算状況

ご預金の状況

- 前年比１,４７９億円（３.９％）と順調に増加

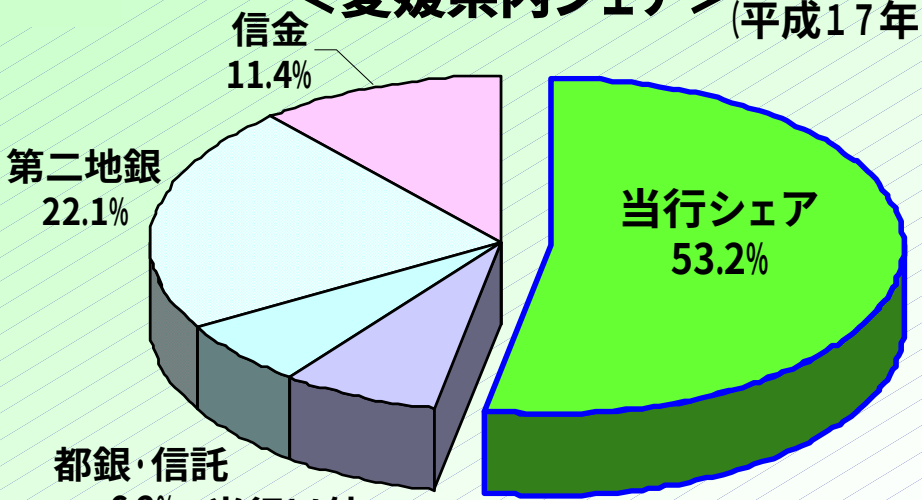
中四国地銀
第１位の増加率

＜預金等残高推移＞

４兆円の大台まで
あと一歩

シェアは約５３％

＜愛媛県内シェア＞（平成１７年３月末）

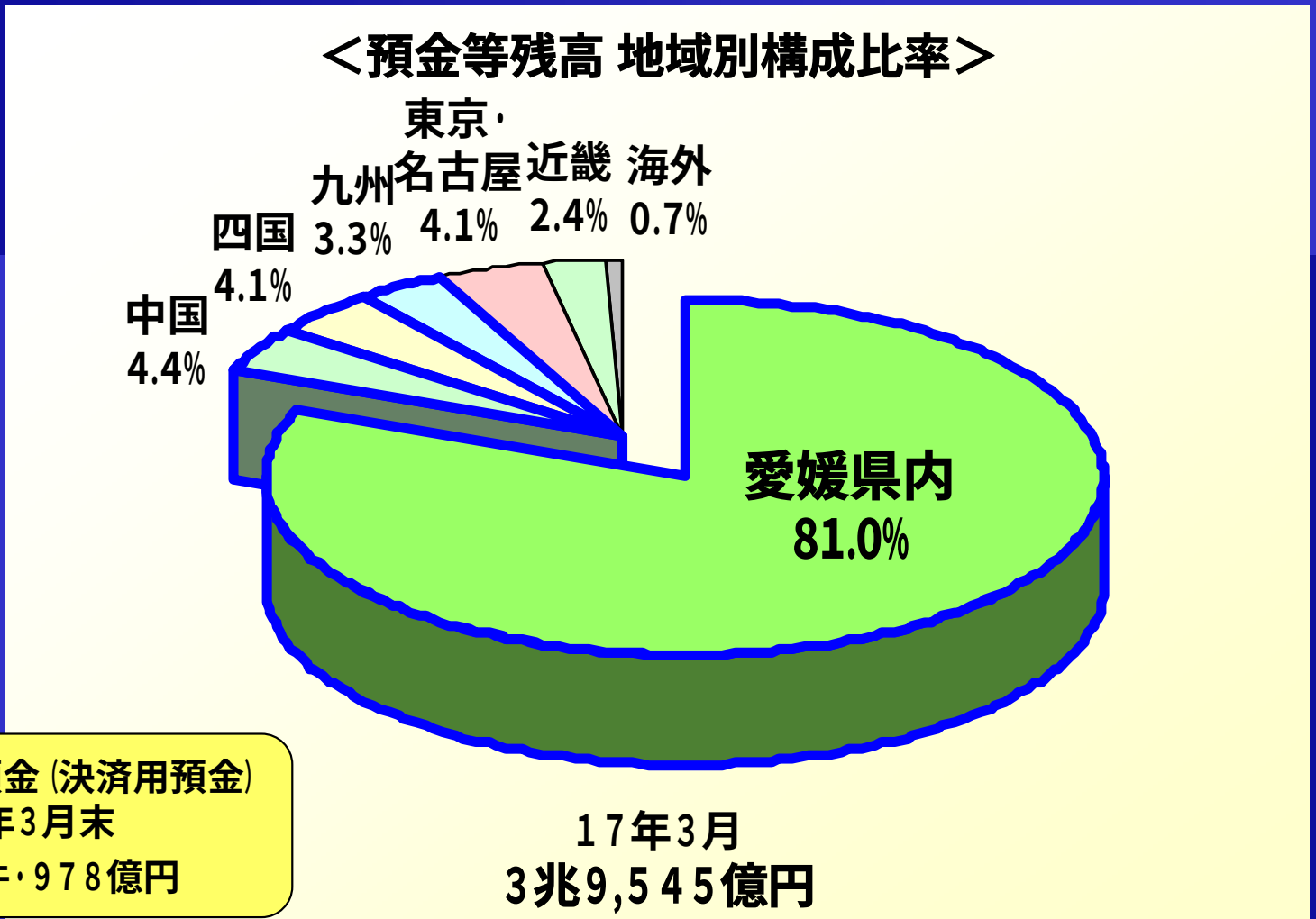


（銀行・信用金庫でのシェア）

ご預金の状況

～ご預金残高の地区別構成比率～

- ***県内８割、県外２割***で愛媛県を中心に安定した調達構造



無利息普通預金（決済用預金）
17年3月末
3,902件・978億円

伊予銀行

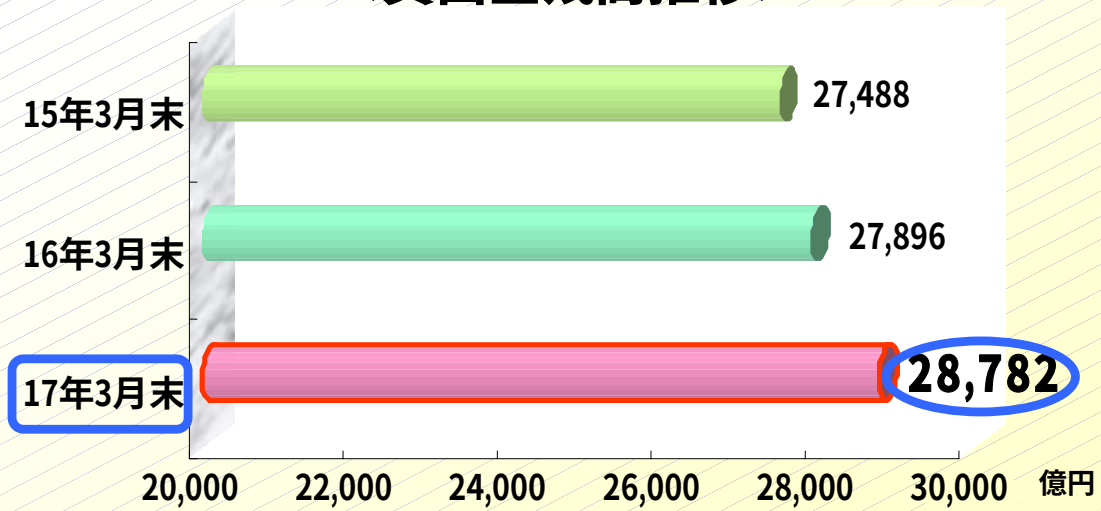
ご融資の状況

- 前年比８８６億円（３.２％）の大幅増加

中四国地銀
第2位の増加率

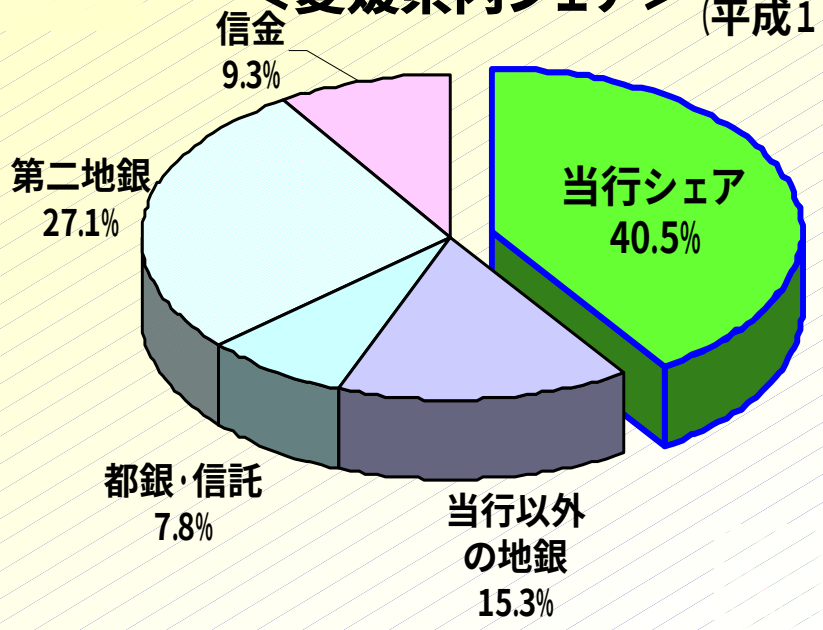
『５,０００先開拓』運動により大幅増加

＜貸出金残高推移＞



シェアは約４１％

＜愛媛県内シェア＞ (平成１７年３月末)

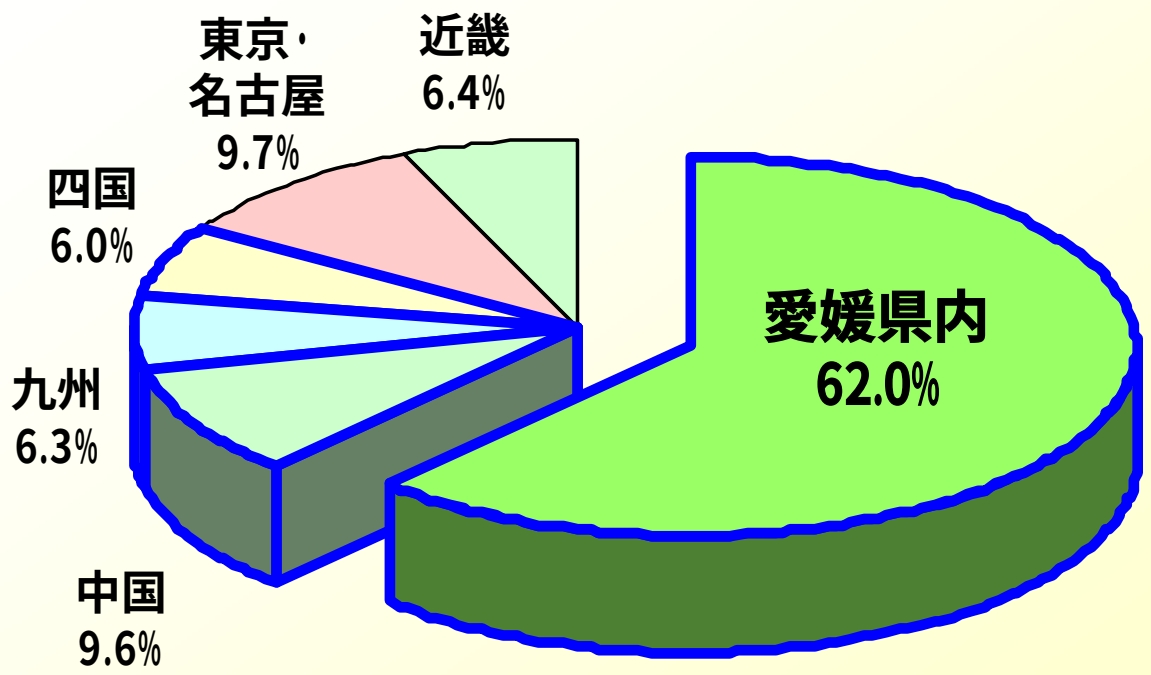


ご融資の状況

～ご融資残高の地区別構成比率～

- 広域展開により、幅広いお客さまにご利用いただく

＜貸出金残高 地域別構成比率＞



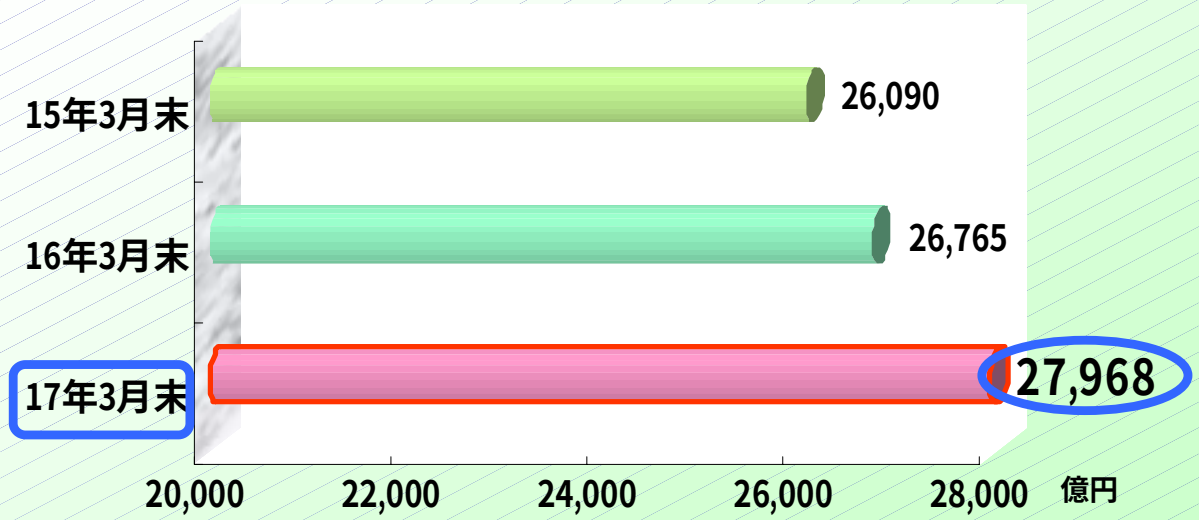
17年3月
2兆8,782億円

伊予銀行

個人のお客さまとのお取引状況

個人預り資産、個人融資とも順調に増加

＜個人預り資産残高推移＞

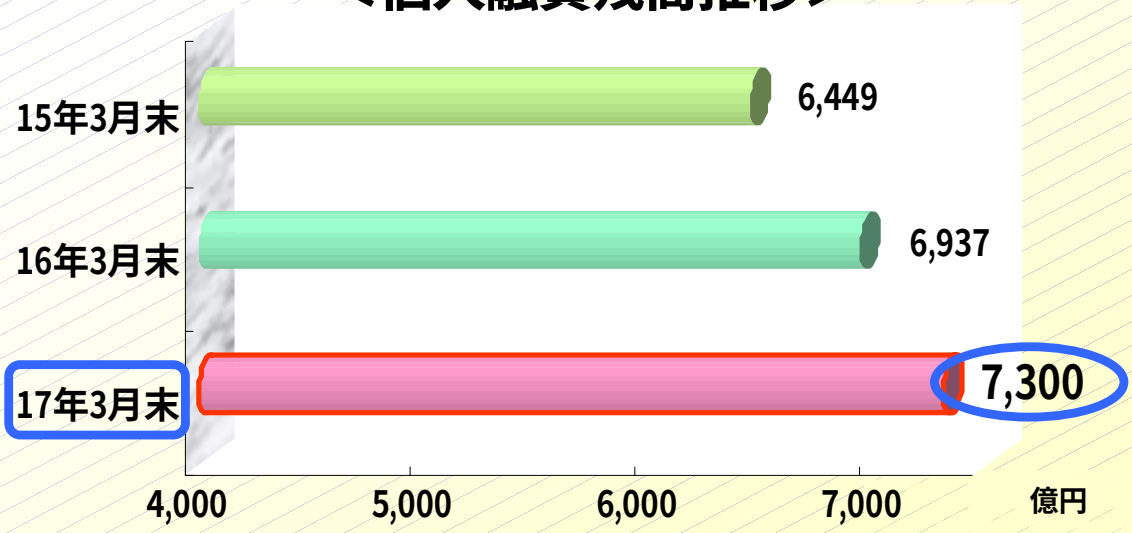


お客さまの運用手段多様化へのニーズに対応

個人預り資産･･･個人預金＋国債＋投信＋年金保険

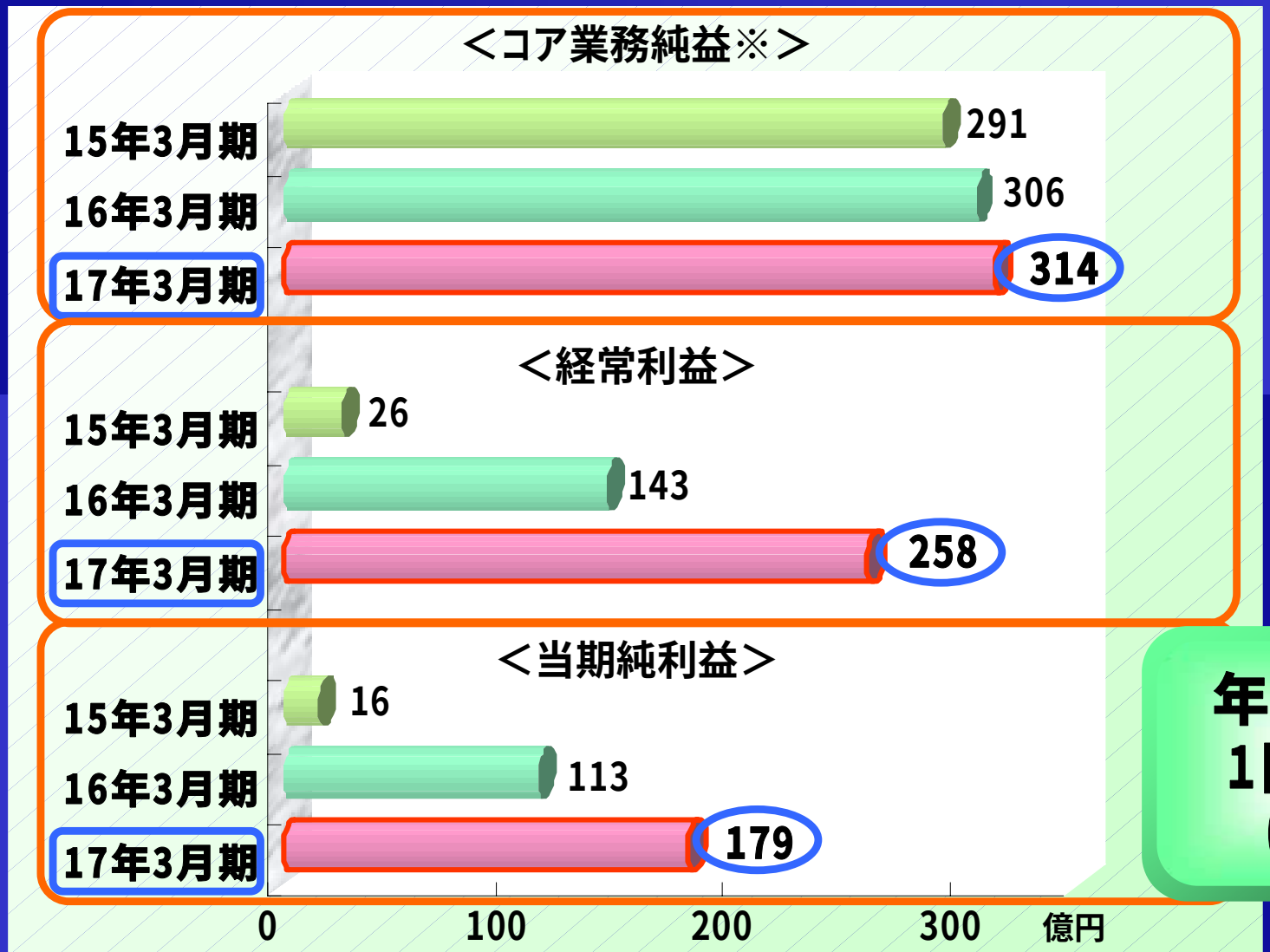
住宅ローンの高い伸びに支えられ、順調に増加

＜個人融資残高推移＞



利益の推移

- コア業務純益・経常利益・当期純利益とも過去最高



年間配当
1円増配
(6円)

※コア業務純益とは、業務純益から国債等債券関係損益と一般貸倒引当金繰入額を控除したもので、本来業務からの収益を表す

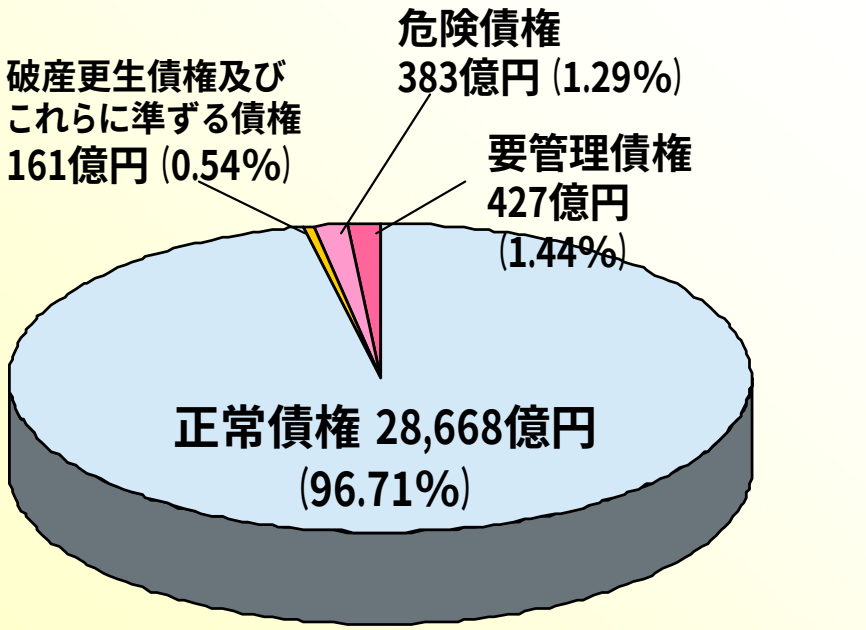
伊予銀行

開示不良債権の状況

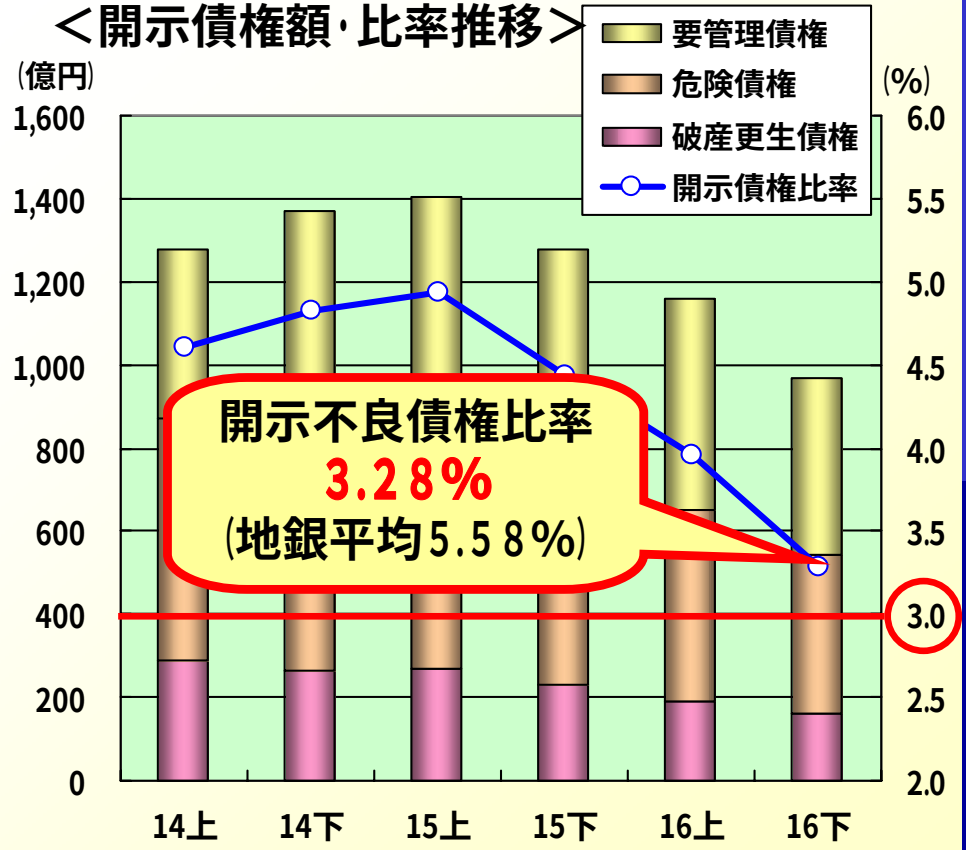
- 残高は前年度比３０２億円減少、比率は３％前半まで低下

＜金融再生法開示債権の状況＞

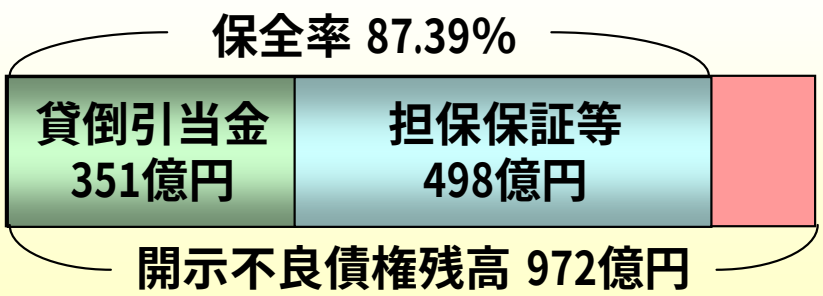
（平成１７年３月末）



＜開示債権額･比率推移＞



＜開示不良債権に対する保全率＞

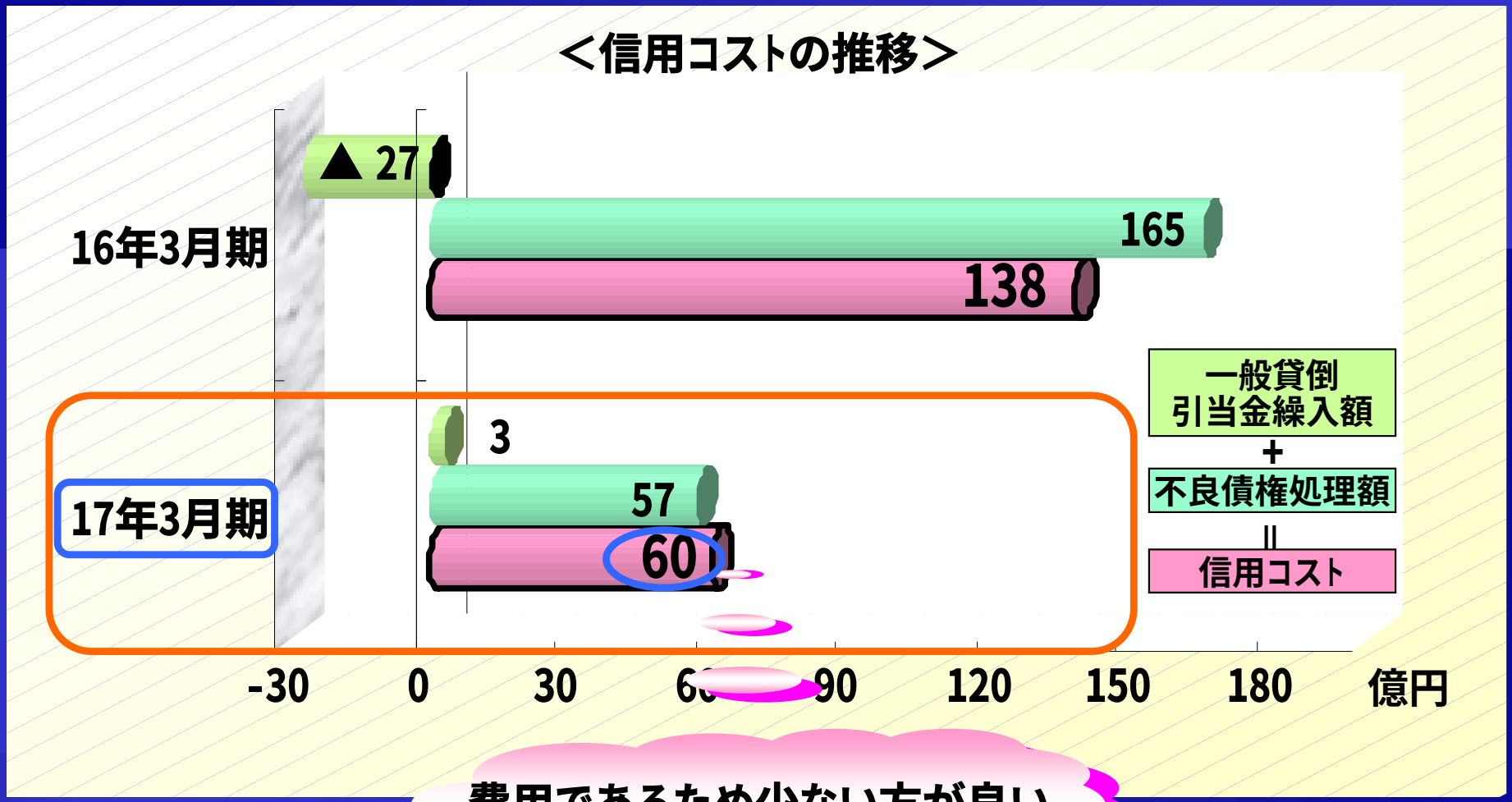


伊予銀行

信用コストの状況

信用コストは大幅減少

信用コストとは･･･貸出の引当･償却等、 不良債権処理に伴い発生する損失
(一般貸倒引当金繰入額＋不良債権処理額)



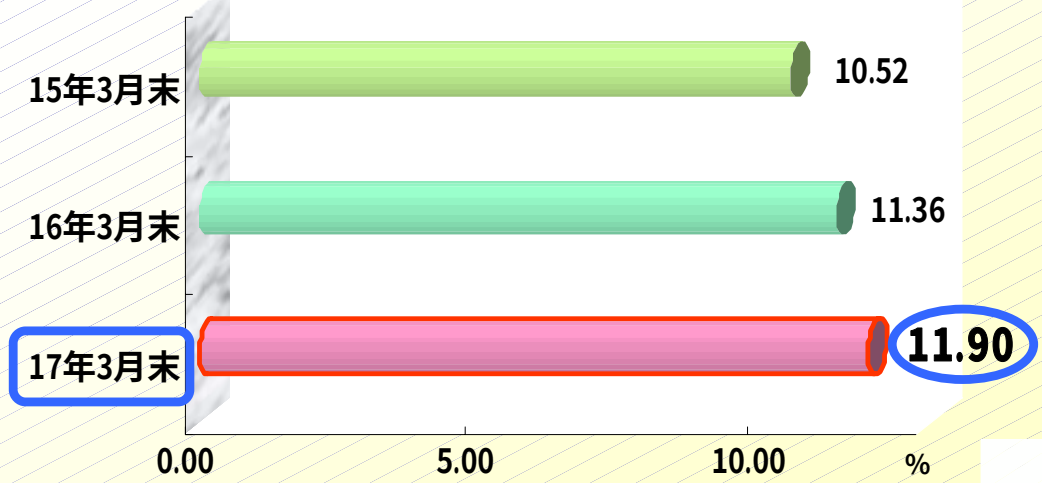
費用であるため少ない方が良い

伊予銀行

自己資本比率(連結・国際統一基準)・有価証券評価損益(含み益)の推移

- 自己資本比率、含み益とも高水準を維持

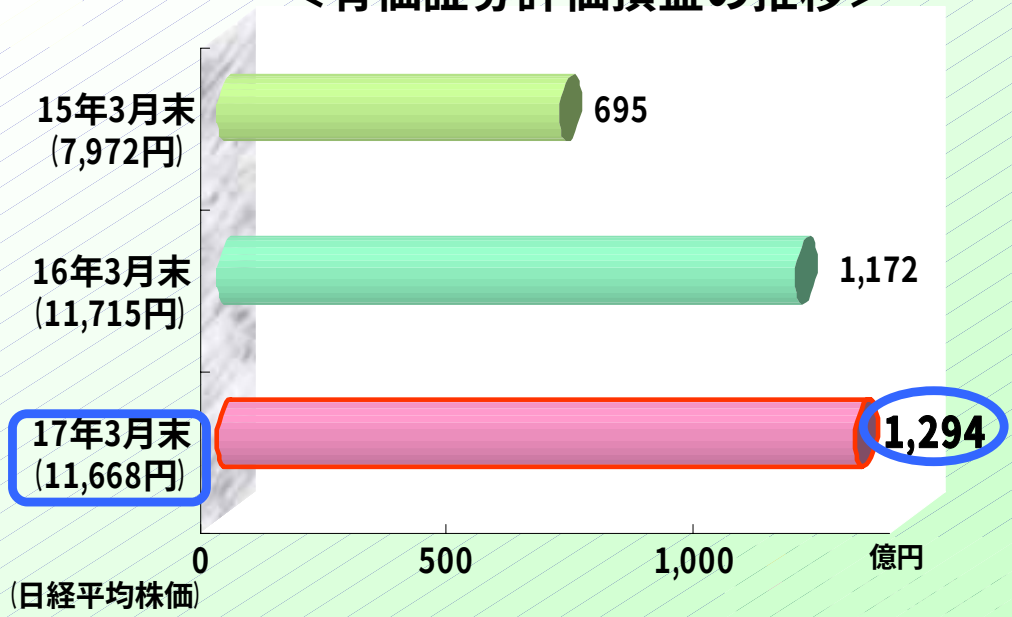
＜自己資本比率(連結ベース)の推移＞



国際基準の８％を大きく上回り
地銀６４行中 第１０位

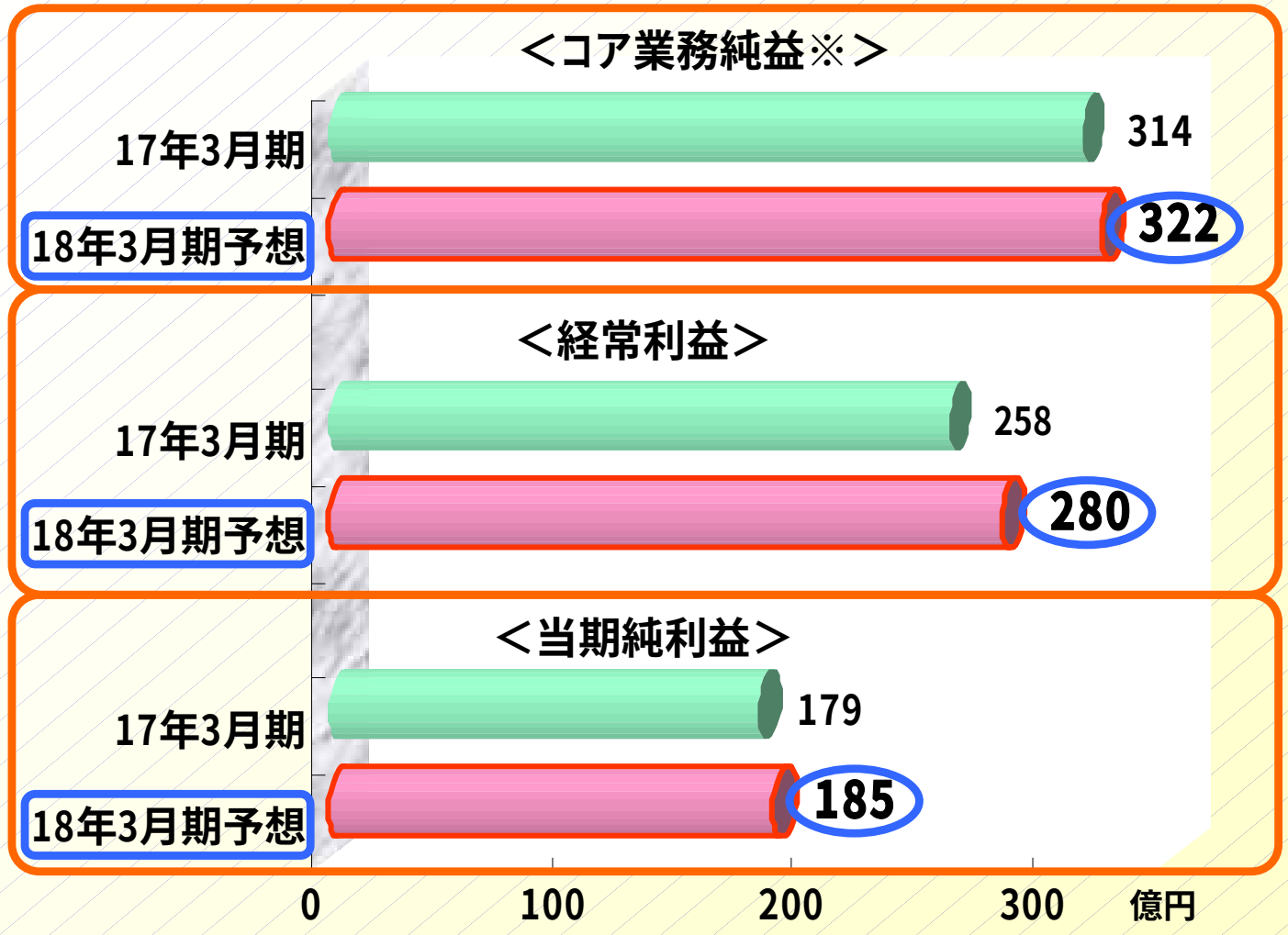
含み益は**地銀６４行中 第４位**

＜有価証券評価損益の推移＞



１７年度業績予想

● １６年度に引き続き「増収・増益」を予想

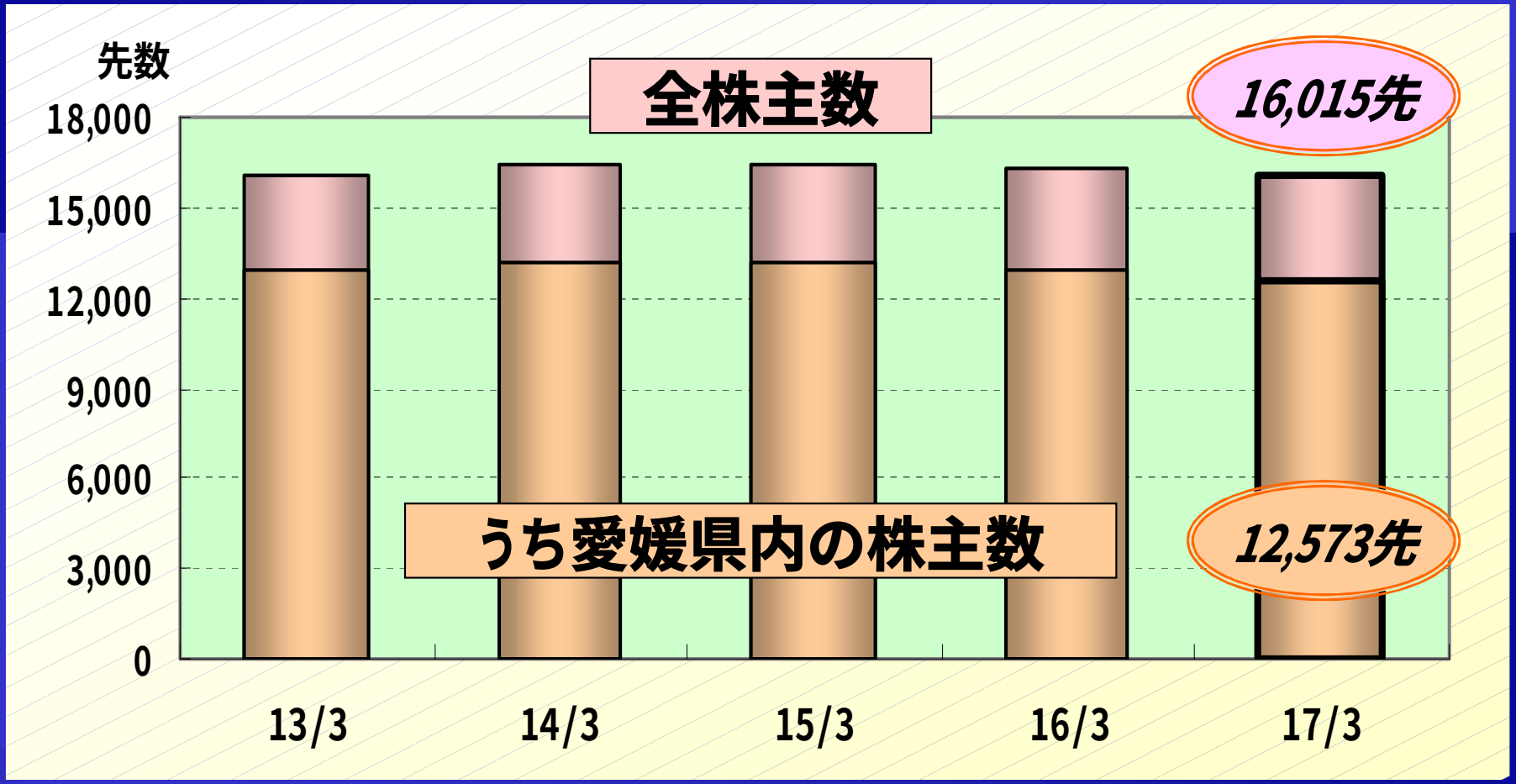


※コア業務純益とは、業務純益から国債等債券関係損益と一般貸倒引当金繰入額を控除したもので、本来業務からの収益を表す

伊予銀行

株主さまの状況

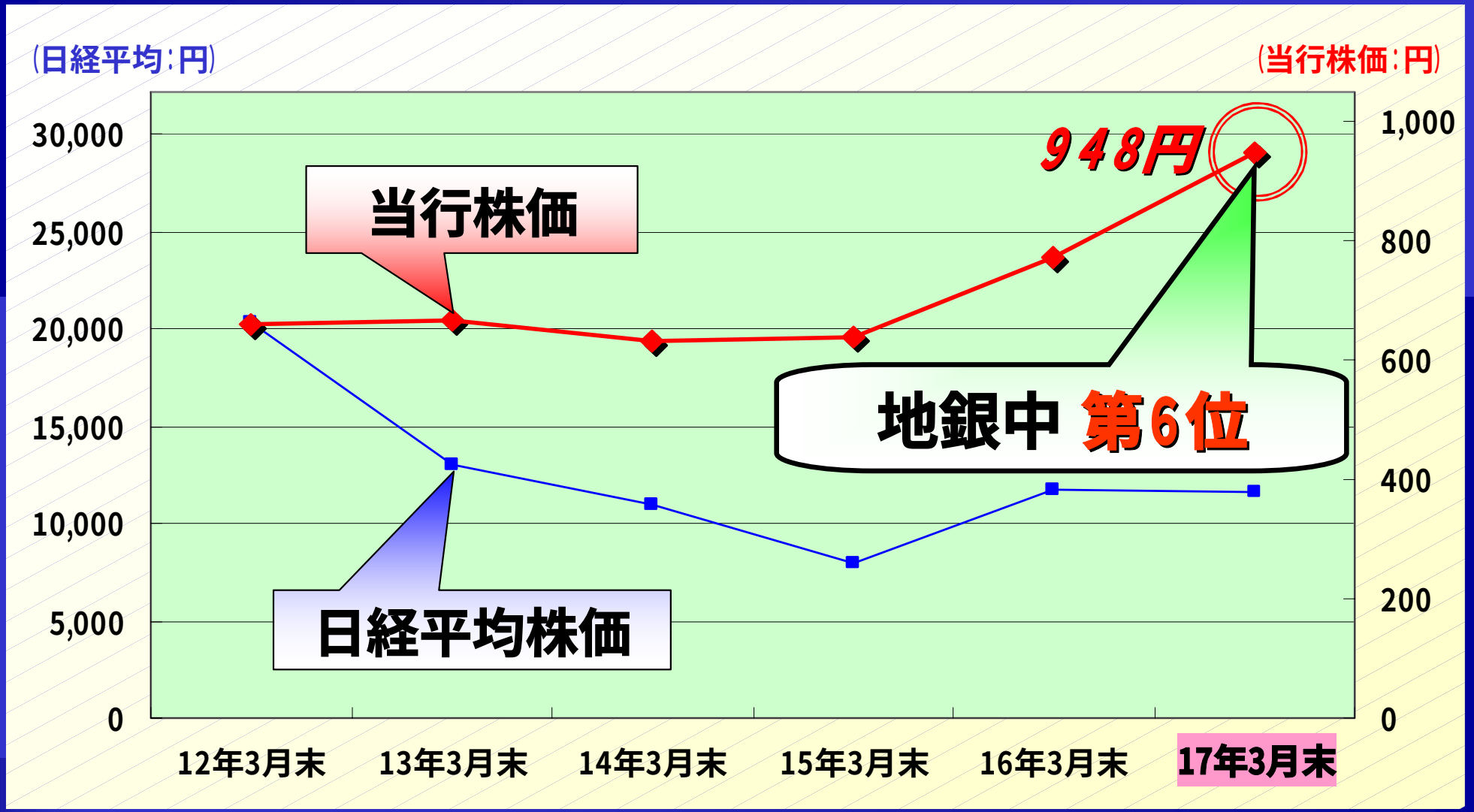
- 約８割が愛媛県内の株主さま



伊予銀行

当行株価の推移 （平成１２年～平成１７年）

- 当行株価は堅調に推移



伊予銀行